

2018年10月14日（日）メッセージアウトライン 「神を愛するということ」

聖書箇所：ヨハネ14：15～24

タイトル：「神を愛するということ」

テーマ：「神を愛する」とは具体的にどんなことでしょうか。本日の聖書箇所には「神を愛するということ」は「神の戒めを守ること」だと端的に記されています。「神の戒め」とは「神の命令」であり「神のことば」です。

聖書に書かれている「神のことば」を信じてお従いすることが「神を愛すること」だということです。

イエス様が私たちにお与えになった命令は、15章12節の「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」というものです。このみことばに従い通そうとすると、見えてくる私たちの現実はいかなるものでしょうか。

心から「神を愛しています」と言えるように、神が私たちのためにして下さったことを考えてみましょう。

1. はじめに

①ヨハネ14：21～24、1：1、1：14aの聖句に照らし合わせてわかること

- *「わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛している人です」14：21
「初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった」1：1
「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた」1：12a

②以上のことばから分かること

- *ことば＝神、ことば＝イエス・キリスト、神の戒めを守ること＝神を愛すること
神の戒め＝神のことば＝イエス・キリスト、そして、イエスのことば＝父なる神のことば

②神のことばに表されている神のご人格

2. ヨハネ14：15～24

①イエスを愛する者はイエスの戒めを守るはず 15節

②助け主（聖霊）について 16, 17節

③十字架の死と復活（あなたがたを孤児にはしない）20節

④イスカリオテ・ユダではないユダの疑問（神の国が来るならどうしてご自分を現して栄光を示さないのか）

3. 私たちが救われたのは・・・

①神のことばを信頼して

- ②福音にこめられている神のメッセージ
- ③神のことば、すなわち神の全人格に信頼せよ
- ④愛するとは、相手のことばと人格を信頼すること

4. 私たちの応答は？

- ①神の戒めに従う
- ②神の戒めとこの世の生き方を天秤にかけるような生き方

5. ドワイト・トーマス兄たちの生き方に見る神の愛

6. 結論

- ①神のことば、神のご人格にあなたはどれほどの信頼を置いているか
- ②神を愛する生き方とこの世を愛する生き方、どちらを選ぶのか
- ③真理の御霊に導かれて